

ラジオが聞こえたよ～(^^♪

灘波陽子所長挨拶

施設見学 ～お陰様で30周年 高評価いただきました～

令和6年7月29日
名古屋港海上交通センター



ラジオ工作教室



午前の部参加者



スタッフ一同



午後の部参加者



7月27日、子供達を対象としたラジオ工作教室を、東海総合通信局、(一財)日本航路標識協会、JRC及びサコージャとともに当センターにおいて開催しました。午前の部11名、午後の部10名の子供らは終始興味をもって、運用管制室の見学や当センター業務説明・電波の話・雷の話に聞き入りました。

ラジオ工作では、アンテナのコイルを巻いたり、初めてののはんだ付けに苦戦しながら真剣な表情で全員がラジオを作り上げ、当センターの中短波放送等を受信してペリカード(受信証)を手に入れました。一緒に参加された保護者も含めて高評価を受け、子供達の記憶に残るイベントとなりました。

今回も中日海洋少年団が参加し、電波新聞社名古屋支局の記者は子供達と一緒にラジオ工作に参加され取材が行われました。

参加した子供達から「海上保安庁のラジオ(放送)を初めて聴き、自分で作ったラジオだとより感動した。」「海上保安庁の仕事について詳しく知れたし、ラジオ工作教室を通して、たくさんの私達の生活にかかわる電波について知って感動した。」、また保護者から「役職の高い方や大人の方々がこんなに親切に手伝ってもらえてとても嬉しかったみたいです。将来の職業に良い影響にもなったと思います。とても有意義なイベントでした。」「いたせりつくせりに教えていただき、とても楽しくやっている様子が見られました。」との嬉しい声が。子供達や保護者の喜ぶ顔を見た当センター職員も達成感と、イベント企画や広報・広聴のノウハウを得ることが出来ました。

当センターは、今年運用開始30周年を迎え、このような貴重な経験ができる場を設けて、関係機関との連携・地域貢献や人材確保・人材育成にも引き続き取り組んで参ります。